

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう}放送原稿（5月24日（金）放送分）

FMラジオ ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。^{かごしまけんりつあまみと}鹿児島県立奄美図書館^{しよかん}です。

今朝は、「図書館アラカルト」と題して、「奄美図書館にある二つの大学」ということについてお話しします。

図書館に大学？・・・と思われるかもしれませんね。

種明かしをすると、一つは、テレビ・ラジオ・インターネットなどで学べる放送大学のことで、奄美図書館の4階にはその学習室があるのです。放送大学は、文部科学省と総務省が管理している放送大学学園が設置した正規の通信制大学です。いわば準国立大学と言ってもいいでしょう。

放送大学は、学ぶ目的によって3つのカリキュラムに分かれます。大学卒業を目指し、4年から10年間在学して教養学士という学位を得るための全科履修生、資格取得や教養を広げるため、半年間または1年間入学して、一部の科目を勉強していく科目履修生、選科履修生です。

入学資格は、高校を卒業した満18歳以上の方なら全科履修生に入学できますし、高校を卒業していなくても、満15歳以上であれば、科目履修生や選科履修生に入学できます。そして指定された科目の単位を修得し、満18歳以上になれば、晴れて全科履修生に入学できるのです。何より放送大学には、入学試験がありません。学びたいという気持ちが入学資格なのです。

費用はどれくらいかかるかというと、全科履修生の入学金が2万4千円、科目履修生が7千円、選科履修生が9千円です。授業料は、1科目につき1万1千円です。全科履修生が卒業に必要な単位数は、124単位以上ですから1科目2単位として卒業までに総額約70万円余りかかることになります。それでも国立大学の入学金が約28万円、1年間の授業料が約54万円ですから、4年間分のその総額約240万円に比べると、三分の一以下の学費ですむのです。

それではどのような科目を学習するのでしょうか。全科履修生は6つのコースの中から学びたい科目を選択します。衣食住・健康・福祉などを学ぶ「生活と福祉コース」、心理学や教育学などの「心理と教育コース」、政治や経済・法律などの「社会と産業コース」、哲学や歴史、文化などを学ぶ「人間と文化コース」、コンピュータやプログラミングなどの「情報コース」、生物や宇宙など自然科学分野を学ぶ「自然と環境コース」です。これらの中に約300もの科目が用意されており、基礎科目から共通科目、専門科目と学習レベルによって難しさも分かれていますので学びやすくなっています。科目履修生や選科履修生

もこれらの中から興味のある科目、資格取得に役立つ科目を選び、放送授業や面接授業（スクーリング）・単位認定試験を通して学んでいくことができるのです。

このような放送大学には、いろいろな人々が学んでいます。今までの仕事とは全く別の分野を研究したいと思って入学した定年退職された方。高校を中退したけれどもう一度学び直したいと考えた十代の方など。中には他の教科の免許状や司書教諭資格を取得するために勉強している現職の高校の先生もいますし、看護師の国家試験を受けるための必要な科目を学ぶ^{じゅん}准看護師さんもいらっしゃいます。今年の3月には、奄美から10年間をかけて卒業した主婦の方もおられました。

本年度10月から始まる第2学期の入学生の募集が6月15日から始まります。締め切りは8月31日までです。この放送を聞いて興味をもった方は、奄美図書館4階へぜひ見学においでください。資料や願書がたくさん置いてあります。また、水曜日と木曜日には、講師の喜島^{きじま}先生が来られますので、入学に関する相談にのってもらえます。放送大学に入学して、新しい自分を発見してみてはいかがでしょうか。

それでは、もう一つの大学とは？・・・それは「かごしま県民大学」という大学です。この大学は、施設があったり、学位をもらえたりする正規の大学ではありません。パソコン、書道、絵画など県民の方々の様々な学習要求に的確に応じられるように、県や市町村の施設、大学・短大・高校などの公共機関においていろいろな学習活動を提供することにより、県下全域を生涯学習のキャンパスとすることを目指す構想上の大学です。

たとえば、大島地区では、奄美高校で「奄美PRポスター・プレゼンテーション制作」、大島高校で「バドミントン講座」、大島北高校で「パソコン講座」、古仁屋高校で「書道講座」が実施される予定です。そして当奄美図書館においては、かごしま県民大学「あまみならでは学舎」を開催します。

この講座は、郷土奄美のよさ、すばらしさを理解することを目的に、文学、自然、観光など、8つの分野で活躍されている奄美在住の方々を講師としてお招きし、月に1度講演していただくものです。本年度は、5月25日、詩人の進^{すすむかず}一男^おさんを第1回として、自然公園指導員の常田^{つねだ}守^{まもる}さん、大島病院長の眞田^{さなだ}純^{じゅん}一^{いち}さん、島尾敏雄顕彰会の越間^{こしま}誠^{まこと}さん、郷土料理研究家の泉^{いずみ}和子^{かずこ}さん、新聞社編集局長の松井輝美^{まつい}さん、ホテル支配人の向井隆広^{むかい}さん、島唄唄者の平久美^{たいらく}さんを予定しています。8回のうち、6回受講していただいた方には、修了証を授与しますが、興味のあるテーマ1回だけの受講でもかまいません。日時など詳しくは、奄美図書館にお問い合わせください。

このように図書館は、本の貸し借りだけでなく、学校を卒業した後の人生の中で、生涯を通じて学ぶことにより、自らを高めていこうとする生涯学習のお手伝いをする役割をも果たしています。今後とも当館をどんどん利用してください。県立奄美図書館でした。^{けんりつあまみとしょかん}